YOKOHAMA 2019
MARATHON 横浜マラソン

『横浜マラソン2019』事業計画（案）

YOKOHAMA
MARATHON
2019

2019年1月22日

横浜マラソン組織委員会

名　　称	**横浜マラソン2019** (英文名：YOKOHAMA MARATHON 2019)
開催趣旨	スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が 期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。
開 催 日	**2019年11月10日(日)**
主　　催	**横浜マラソン組織委員会** 横浜市、神奈川県、（公財）横浜市体育協会、横浜市陸上競技協会、 横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟、 （公財）神奈川県体育協会、（一財）神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟、 神奈川県スポーツ推進委員連合会、（一社）横浜青年会議所、（公財）よこはまユース、 （社福）横浜市リハビリテーション事業団、（公社）横浜市身体障害者団体連合会、 横浜商工会議所、（一社）横浜市商店街総連合会、（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー、 （一社）横浜市医師会、横浜船主会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、 （一社）横浜みなとみらい21、（株）横浜国際平和会議場、山下公園通り会、 横浜エフエム放送（株）、（株）アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、（株）テレビ神奈川、 （一社）神奈川県バス協会、（一社）神奈川県タクシー協会、（一社）神奈川県トラック協会
プロデューサー	坂 本 雄 次
主　　管	横浜市陸上競技協会
協　　賛 【2018実績】	**大会スポンサー** ＪＸＴＧエネルギー株式会社（ＥＮＥＯＳ）、 株式会社ローソン、株式会社アマダホールディングス、日産自動車株式会社、 株式会社横浜銀行、株式会社フォトクリエイト、株式会社杉孝グループホールディングス、 株式会社京三製作所、リストグループ、日清オイリオグループ株式会社、 株式会社ファンケル、第一生命保険株式会社、カシオ計算機株式会社、 東急グループ、アクエリアス、アンダーアーマー、 キリンビール株式会社、株式会社横浜岡田屋（モアーズ） **大会サポーター** ＮＴＴ東日本、ダスキンレントオール、古河電池株式会社、 富士ゼロックス株式会社、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社、 富士通株式会社 神奈川支社、株式会社ありあけ、スポーツショップ GALLERY・２、 タカナシ乳業株式会社、横浜油脂工業株式会社、すてきナイスグループ株式会社、 フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社、 フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア、カリフォルニア・レーズン協会 **大会ジュニアサポーター** 泉陽興業株式会社 よこはまコスモワールド

運営協力	横浜市スポーツ推進委員連絡協議会
協　　力 **【2018実績】**	首都高速道路株式会社、日産グローバル本社、パシフィコ横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社、株式会社横浜シーサイドライン、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、クイーンズスクエア横浜、（一社）横浜みなとみらい21、横浜ランドマークタワー、横浜ベイクォーター、横浜アートグレイス ポートサイドヴィラ、横浜美術館、横浜人形の家、横浜ラポール、ハクビ京都きもの学院、（一社）横浜南部市場管理協会、（独法）国立海洋研究開発機構、日本体育大学、（公財）横浜市緑の協会、横浜市交通局、横浜市水道局、横浜市消防局
後　　援 **【2018実績】**	スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会
種　　目	■フルマラソン（42.195ｋｍ） ■1/7フルマラソン（6.0278ｋｍ） ■1/7フルマラソン（車いす） ■2km（車いす）
コ ー ス	**フルマラソン(42.195km)** みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場～パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜税関～神奈川県庁本庁舎～横浜市開港記念会館～日本大通り～横浜市庁舎～横浜スタジアム～横浜中華街(玄武門)～山下公園～三溪園・本牧市民公園～根岸駅前～横浜南部市場前(折り返し）～首都高速湾岸線（杉田～本牧ふ頭）～横浜港シンボルタワー～山下公園～大さん橋～横浜赤レンガ倉庫～パシフィコ横浜 **1/7フルマラソン(6.0278km）・（車いす)** みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場～横浜赤レンガ倉庫～横浜スタジアム～山下公園前 **2km(車いす)** パシフィコ横浜前交差点～横浜赤レンガ倉庫（折り返し）～パシフィコ横浜
参加資格	**フルマラソン(42.195km)** 2001年（平成13年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソンを6時間以内で完走できる方 **1/7フルマラソン(6.0278km）** 2004年（平成16年）4月1日以前生まれの方で、6.0278ｋｍを50分以内で完走できる方 **1/7フルマラソン(車いす）(6.0278km）** 2007年（平成19年）４月1日以前生まれの方で、6.0278ｋｍをレース仕様の車いすで30分以内で完走できる方 **２ｋｍ（車いす･付添伴走（介助）可）** 2013年（平成25年）４月1日以前生まれの方で、２kmを車いすで40分以内で完走できる方（車いすの仕様に制限はありません。）

エントリー方法

種目及び対象人数等

2019大会はここが変わります

① 新たに**「女性ランナー優先枠」を設置し10,000人の女性ランナーを募集します**

全体の2割にとどまる女性の申込者数を増やすため、女性の優先枠を新設します。女性が参加しやすい環境を整え、横浜マラソンに多くの女性が走ることで、女性のランニングやマラソンへの関心を高め、女性の申込者数・出走者数の一層の増加につなげていきます。スポーツ振興や健康増進に寄与するとともに、設備の充実など、大会の環境整備を行い、すべての人が走りやすい大会を目指します。

② 「外国人枠」を500人から**1,000人に増やします**

開港160年を迎える「横浜」や「横浜マラソン2019」の魅力を海外に向けて発信し、外国人参加者を増やすことで「横浜」の経済波及効果やシティーセールスに寄与し、世界から選ばれる「横浜マラソン」を目指します。

③ 「２ｋｍ(車いす)」を20人から**50人に増やします**

種目		募集人数	参加料	方式	対象
フルマラソン					
	女性ランナー優先枠 NEW	10,000人	15,000円	抽選	一般の方
	地元優先枠 横浜市民枠	2,000人	15,000円	抽選	横浜市内に在住の方
	地元優先枠 神奈川県民枠	1,000人	15,000円	抽選	横浜市以外の神奈川県内在住の方
	一般枠 ※1	11,920人	15,000円	抽選	一般の方
	チャレンジ枠 ※2	500人	15,000円	―	一般の方
	チャリティ枠 ※3	500人	50,000円（ﾁｬﾘﾃｨ35,000円含）	先着順	一般の方
	外国人枠	UP 1,000人	17,000円（手数料2,000円含）	先着順	外国籍の方
1/7フルマラソン		1,000人	4,000円	抽選	一般の方
1/7フルマラソン(車いす)		30人	4,000円	抽選	一般の方
２ｋｍ（車いす）		UP 50人	3,000円	抽選	一般の方
合計		28,000人			

※1 「女性ランナー優先枠･「地元優先枠」の落選者は、自動的に一般枠の抽選に移行

※2 横浜マラソンへの参加機会を提供することで、多くの方にランニング等のスポーツを習慣化してもらうことを目的とした枠
組織委員会事務局が主催する大会公式イベントのほか、県内･市内のマラソン大会や市内各区スポーツセンターなどが行うランニング関連事業と連携して実施

※3 【寄付先】
〇社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団が運営する「横浜ラポール」
〇神奈川県立こども医療センターの「かながわ県立病院小児医療基金」

募集期間

○女性ランナー優先枠　4月17日（水）～ 5月20日（月）
○地元優先枠（横浜市民・神奈川県民）　4月17日（水）～ 5月20日（月）
○一般枠　4月17日（水）～ 5月20日（月）
○チャリティ枠・外国人枠　4月17日（水）～ 6月28日（金）

申込方法

○インターネットでの申込み
○ローソン、ミニストップ店舗等での申込み

スタート時刻等

種　　目	スタート時刻	制限時間
フルマラソン	8時30分	6時間30分
1/7フルマラソン	8時30分	1時間20分
1/7フルマラソン（車いす）	8時20分	30分
2km（車いす）	9時40分	40分

関門閉鎖時刻

コース上に関門地点を設置し、関門時刻に関門を通過していない選手は失格となります。

フルマラソン

	場　　所	関門地点 km	関門時刻		場　　所	関門地点 km	関門時刻
第1関門	横浜公園	4.4	9:36	第8関門	首都高51.5KP	27.5	12:40
第2関門	A突堤入口	8.1	10:03	第9関門	シンボルタワー折り返し	34.5	13:43
第3関門	本牧陸橋付近	10.5	10:21	第10関門	A突堤入口	37.7	14:13
第4関門	プールセンター入口	14.5	10:52	第11関門	山下ふ頭入口	39.0	14:28
第5関門	新森町高架橋付近	17.2	11:13	第12関門	横浜赤レンガ倉庫付近	41.2	14:50
第6関門	横浜南部市場付近	19.8	11:34	フィニッシュ関門	フィニッシュゲート	42.195	15:00
第7関門	首都高56.1KP	22.9	12:00				

※関門の場所、距離、時刻は変更になる場合があります。

1/7フルマラソン・1/7フルマラソン（車いす）

	場　　所	関門地点 km	1/7フルマラソン 関門時刻	1/7フルマラソン(車いす) 関門時刻
第1関門	横浜公園	4.4	9:36	8:42
フィニッシュ関門	フィニッシュゲート	6.0278	9:50	8:50

※関門の場所、距離、時刻は変更になる場合があります。

ランナー受付

日　程

2019年11月8日（金）・9日（土）

会　場

パシフィコ横浜展示ホール（予定）

時　間

11月8日（金）11：00 ～ 20：00（予定）

11月9日（土）11：00 ～ 20：00（予定）

応援ゲスト

2019大会は、第5回の節目の大会となることから、大会アンバサダーを見直し、著名人や地元プロスポーツチームなどを「応援ゲスト」としてお迎えします。 「応援ゲスト」には、横浜全体が元気になり、魅力あふれる大会となるよう盛り上げていただきます。

【2018実績】

大会アンバサダー

谷原章介：横浜市出身　俳優
剛力彩芽：横浜市出身　女優
米田　功　：横浜市在住
　　アテネオリンピック体操団体　金メダリスト
三浦大輔：元横浜DeNAベイスターズ投手

プロスポーツチームアンバサダー

横浜DeNAベイスターズ
横浜F・マリノス
横浜FC
横浜ビー・コルセアーズ

コース上企画

給水パフォーマンス

給水所はランナーにとって楽しみの場であり、「ゴールに向けて頑張るぞ！」と新たな活力が生まれるエリアです。各給水所において「ランナーを元気づける」ために応援パフォーマンスを実施します。

ラッキー給食

ランナーの皆様に楽しみながらゴールを目指していただくため、定番の給食メニューに加え、地元横浜・神奈川の食品を中心とした「ラッキー給食」を提供します。

この給食は、決められた時間に限られた個数を提供することで、全てのランナーが食べられるとは限らない、食べられたらラッキーと思える給食となっています。

連携企画

チャレンジ枠対象事業

多くの市民等にランニングを習慣にしていただき、一層の健康増進と体力の向上を推進するとともに、大会に向けた機運醸成を図るため、横浜マラソンの出走権（参加料・有料）を付与する「チャレンジ枠対象事業」を実施します。

第８回イイコトチャレンジ
（富士通スタジアム川崎）

【対象事業】

■各区事業（主催、共催又は後援）
対象者：区民マラソン大会の参加者、ランニング教室の修了者、
その他これらに準ずる事業及び対象者

■各スポーツセンター事業
対象者：ランニング教室の修了者、その他これに準ずる事業の対象者

■横浜マラソン組織委員会事務局が主催または認めた事業
対象者：マラソン大会の上位入賞者・完走者、ランニング教室の修了者
その他これらに準ずる事業及び対象者

NEW 持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を意識した取り組みの推進

横浜マラソンの各種事業において、ＳＤＧｓを意識した取り組みを行い、それを発信することで、大会の質の向上を図ります。

SDGs（持続可能な開発目標）とは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

Sustainable Development Goalsの略。
2015年に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。
17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGs未来都市「横浜」・「神奈川」として

2018年６月、「横浜市」と「神奈川県」は国の「ＳＤＧｓ未来都市」及び「自治体ＳＤＧｓモデル事業」に選定されました。
横浜市では、経済／環境／社会の3つの観点から、成長と活力を生み出す国際都市として、豊かな自然環境を守り「住み続けたい」と思える街づくりに取り組んでいます。
神奈川県では、ＳＤＧｓと軌を一にする、「いのち輝く神奈川」という理念を掲げ、将来に向けて持続可能な形で維持していくための総合的な施策を展開しています。

主催イベント

プレイベント

「横浜マラソン2019」の開催機運を盛り上げるため、プレイベントを実施します。

【開催予定】
2019年7月　※内容及び会場は調整中

併催イベント

横浜マラソンEXPO2019

展示販売などの誰もが楽しめる様々なブースを展開し、大会の機運を盛り上げ、横浜の魅力を発信します。

【 日 程 】 2019年11月8日（金）・9日（土）
【 場 所 】 パシフィコ横浜展示ホール（予定）
【 時 間 】 11月8日（金）11:00 ~ 20:00（予定）
11月9日（土）11:00 ~ 20:00（予定）
【 内 容 】 協賛社ブース・ステージイベントなど

※写真は「横浜マラソン2016」（パシフィコ横浜展示ホール開催）

横浜マラソンフェスタ2019

大会当日、ランナーのみならず、応援者も楽しめる様々なブースや飲食を展開し、大会を盛り上げます。

【 日 程 】 2019年11月10日（日）
【 場 所 】 パシフィコ横浜円形広場「プラザ」・臨港パークなど
【 時 間 】 10:00 ~ 17:00（予定）
【 内 容 】 飲食ブース・オフィシャルショップなど

スケジュール

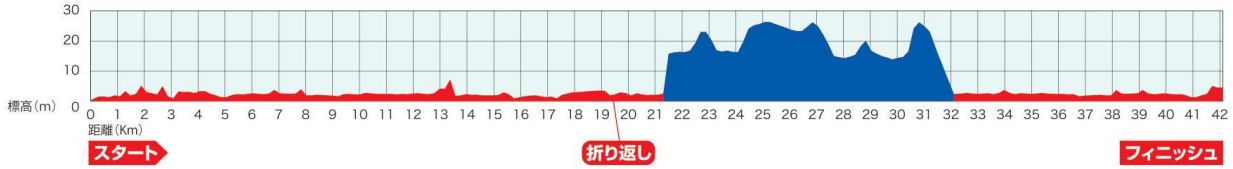
	大会･EXPO･組織委員会	そ　の　他
2019年 1月	●組織委員会開催（22日） ①横浜マラソン2018組織委員会規約の改正 ②横浜マラソン2018事業報告 ③横浜マラソン2018収支決算 ④横浜マラソン2019事業計画 ⑤横浜マラソン2019収支予算	
4月		○ランナー募集開始（17日）
5月		○ボランティア募集開始（中旬）
6月		
7月		○プレイベント開催（予定）
9月		○「参加のご案内」発送（下旬）
11月	◎横浜マラソン2019大会開催（10日） ◎横浜マラソンEXPO2019開催（8･9日）	
2020年 1月	●組織委員会開催 ①横浜マラソン2019大会事業報告 ②横浜マラソン2019大会収支決算 ③横浜マラソン2020大会事業計画 ④横浜マラソン2020大会収支予算	

大会コース

フルマラソン（42.195ｋｍ）

コース高低図

標高 ■最低：0.4m ■最高：26.2m



※日本陸上競技連盟公認コースではありません。

1/7フルマラソン（6.0278ｋｍ） ・1/7フルマラソン（車いす）

みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場～横浜赤レンガ倉庫～
横浜スタジアム～山下公園前

2ｋｍ（車いす）

パシフィコ横浜前交差点～横浜赤レンガ倉庫(折り返し)～パシフィコ横浜

【2018実績】

プラチナスポンサー（1社）

ENEOS

ゴールドスポンサー（3社）

LAWSON　AMADA　NISSAN

シルバースポンサー（12社）

横浜銀行　ALL SPORTS community　SUGIKO
KYOSAN　List　日清オイリオ
FANCL　第一生命　CASIO
東急グループ　AQUARIUS　UNDER ARMOUR

ブロンズスポンサー（２社）

KIRIN　MORE'S

横浜サポーター（19社）

NTT東日本、ダスキンレントオール、古河電池株式会社
富士ゼロックス株式会社、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社、富士通株式会社 神奈川支社
株式会社ありあけ、スポーツショップ GALLERY・２、タカナシ乳業株式会社、横浜油脂工業株式会社
すてきナイスグループ株式会社、フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社
フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ドコモバイクシェア、カリフォルニア・レーズン協会
＜横浜ジュニアサポーター＞　泉陽興業株式会社　よこはまコスモワールド

「横浜マラソン2019」収支予算（案）

（2019年1月1日～2019年12月31日）

収　入	900,508,563円
支　出	900,508,563円
差　額	0円

【 収 入 】

【単位：円】

	費　　目	2018大会	2019大会	増　減	備　　考
1	参加料及び協賛金	759,500,000	770,000,000	10,500,000	
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	市：100,000,000円 県：30,000,000円
3	前大会繰越金	0	8,563	8,563	
4	その他	500,000	500,000	0	ロゴ使用料、銀行利息等
計		890,000,000	900,508,563	10,508,563	

※2019大会の自治体負担金については予算の成立を前提として計上しています。

【 支 出 】

【単位：円】

	費　　目	2018大会	2019大会	増　減	備　　考
1	広報・イベント費	195,000,000	200,000,000	5,000,000	大会告知、EXPO開催、 女性優先枠・外国人枠の広報等
2	安全対策費	290,000,000	295,000,000	5,000,000	大会警備、交通規制周知、 救護関係等
3	大会運営費	320,000,000	320,000,000	0	コース設営、会場設営、 会場使用料等
4	システム関係費	34,000,000	36,000,000	2,000,000	エントリー・記録計測等
5	事務局経費	41,000,000	39,500,000	▲1,500,000	使用料及び賃借料、消耗品、 保険、支払手数料等
6	予備費	10,000,000	10,008,563	8,563	
計		890,000,000	900,508,563	10,508,563	

YOKOHAMA MARATHON 2018 横浜マラソン

『横浜マラソン2018』事業報告(案)

2019年１月22日

横浜マラソン組織委員会

「横浜マラソン2018」事業報告

名　　称　**横浜マラソン2018** (英文名：YOKOHAMA MARATHON 2018)

開催趣旨　スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

開 催 日　**2018年（平成30年）10月28日(日)**

申込結果

優先枠エントリー（無抽選）

種　　目	申込人数
フルマラソン	20,854人
1／7フルマラソン	564人
1／7フルマラソン（車いす）	5人
2km（車いす）	66人
合　　計	※1　**21,489人**

※1　2017大会にエントリーされたランナーの優先申込の人数

一般公募枠エントリー

			募集人数	申込人数	倍　率
フルマラソン	地元優先枠	横浜市民枠	410人	7,221人	17.6倍
		神奈川県民枠	210人	7,798人	37.1倍
	一般枠		5,040人	※2　29,117人	5.8倍
	チャリティ枠		80人	80人	–
	外国人優先枠		270人	413人	–
	チャレンジ枠		500人	342人	–
その他	1／7フルマラソン		440人	5,093人	11.6倍
	1／7フルマラソン（車いす）		30人	4人	0.1倍
	2km（車いす）		20人	25人	1.3倍
合　　計			**7,000人**	**35,694人**	**–**

※2　地元優先枠の落選者は、自動的に一般枠の抽選に移行

競技結果等

ランナー出走人数等

種　　目	出走人数	完走人数	完走率 （ ）は2016大会	備　　考
フルマラソン	26,779人	24,651人	92.0%（94.3%）	
1／7フルマラソン	957人	954人	99.6%（99.5%）	2016大会は 10kmマラソン
1／7フルマラソン（車いす）	6人	5人	83.3%（90.0%）	
2km（車いす）	83人	83人	100%（100%）	
合　　計	**27,825人**	**25,693人**	**92.3%（94.5%）**	

ランナーの男女割合

項　目	割　合
男　性	**81.0%**
女　性	**19.0%**

ボランティア参加人数

項　目	人　数
2018大会	**7,617人**
2016大会	6,613人

沿道応援者数

項　目	人　数
2018大会	**約68万4千人**
2016大会	約65万人

主　催

横浜マラソン組織委員会

横浜市、神奈川県、（公財）横浜市体育協会、横浜市陸上競技協会、
横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟、
（公財）神奈川県体育協会、（一財）神奈川陸上競技協会、
神奈川県実業団陸上競技連盟、神奈川県スポーツ推進委員連合会、
（一社）横浜青年会議所、（公財）よこはまユース、
（社福）横浜市リハビリテーション事業団、（公社）横浜市身体障害者団体連合会、
横浜商工会議所、（一社）横浜市商店街総連合会、
（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー、（一社）横浜市医師会、横浜船主会、
横浜港運協会、神奈川倉庫協会、（一社）横浜みなとみらい21、
（株）横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送（株）、
（株）アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、（株）テレビ神奈川、
（一社）神奈川県バス協会、（一社）神奈川県タクシー協会、（一社）神奈川県トラック協会

プロデューサー

坂 本 雄 次

主　管

横浜市陸上競技協会

大会スポンサー

大会スポンサー

ＪＸＴＧエネルギー株式会社（ＥＮＥＯＳ）、
株式会社ローソン、株式会社アマダホールディングス、日産自動車株式会社、
株式会社横浜銀行、株式会社フォトクリエイト、株式会社杉孝グループホールディングス、
株式会社京三製作所、リストグループ、日清オイリオグループ株式会社、
株式会社ファンケル、第一生命保険株式会社、カシオ計算機株式会社、
東急グループ、アクエリアス、アンダーアーマー、
キリンビール株式会社、株式会社横浜岡田屋（モアーズ）

大会サポーター

ＮＴＴ東日本、ダスキンレントオール、古河電池株式会社、
富士ゼロックス株式会社、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社、
富士通株式会社 神奈川支社、株式会社ありあけ、スポーツショップ GALLERY・２、
タカナシ乳業株式会社、横浜油脂工業株式会社、すてきナイスグループ株式会社、
フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社、
フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア、カリフォルニア・レーズン協会

大会ジュニアサポーター

泉陽興業株式会社 よこはまコスモワールド

運営協力

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

協　力

首都高速道路株式会社、日産グローバル本社、パシフィコ横浜、相鉄グループ、
京浜急行電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社、株式会社横浜シーサイドライン、
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、クイーンズスクエア横浜、
（一社）横浜みなとみらい21、横浜ランドマークタワー、横浜ベイクォーター、
横浜アートグレイス ポートサイドヴィラ、横浜美術館、横浜人形の家、横浜ラポール、
ハクビ京都きもの学院、（一社）横浜南部市場管理協会、
（独法）国立海洋研究開発機構、日本体育大学、（公財）横浜市緑の協会、
横浜市交通局、横浜市水道局、横浜市消防局

後　援

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会

「横浜マラソンEXPO2018」の開催

10月26日・27日・28日の3日間、「横浜マラソンEXPO2018」を横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催し、約88,000人の来場者で賑わいました。

26日・27日の2日間は、ランナーの皆様の受付を併せて行いました。EXPOでは、協賛企業様をはじめとしたブースやショップの出展を行い、オフィシャルグッズのほとんどの商品が完売するなど、大変盛況でした。また、ステージでは、「横浜マラソン2018攻略講座」を2日間で合計12回行いましたが、毎回多くのランナーがゲストの話に熱心に耳を傾けていました。

1 日 時

平成30年10月26日（金） 11:00～20:00
平成30年10月27日（土） 11:00～20:00
平成30年10月28日（日） 10:00～15:00

2 会 場

横浜赤レンガ倉庫イベント広場（入場料無料）

3 来場者数

大 会 名	大会前々日	大会前日	大会当日	計
横浜マラソン2018	**25,000人**	**44,000人**	**19,000人**	**88,000人**
横浜マラソン2017	21,000人	28,000人	荒天中止	49,000人

4 ステージプログラムゲスト･出演団体

○10月26日（金）
坂本プロデューサー
谷川真理
那須川瑞穂
柏原竜二
中村優
八木勇樹

○10月27日（土）
坂本プロデューサー
中村優
福島和可菜
西谷綾子
下門美春
市橋有里

○10月28日（日）
東洋英和女学院大学チアリーダーズ部
B-ROSE(横浜ビー・コルセアーズ公式チアリーディングチーム)
キッズダンスUNISTA
神奈川県立横浜平沼高校ダンス部

「横浜マラソン2018公式パーティー」の開催

「横浜マラソン2018公式パーティー」を開催し、協賛各社様への感謝状の贈呈等を行いました。

1 日 時

平成30年10月26日（金） 18:45～20:15

2 会 場

横浜ベイホテル東急 B2階 「クイーンズ グランド ボールルーム」

3 来場者数

大会スポンサー・サポーター各社様、大会関係者様 ほか 約200名

『横浜マラソン2018』プレイベント「快適・夏ランクリニック」の開催

7月8日に『横浜マラソン2018』のプレイベントとして、横浜・八景島シーパラダイスで「快適・夏ランクリニック」を開催しました。夏場のトレーニング方法や大会本番に活用できる給水・給食の取り方やランニングフォームの確認方法などのアドバイスを行いました。

開 催 日	平成30年7月8日(日)
会 場	横浜・八景島シーパラダイス（横浜市金沢区）
開催内容	■講座：夏場のトレーニングや大会本番に活用できるテクニックについて、コースに設置されている各コーナーにて次の内容のレクチャーを実施 ①給水・給食・体温調整 ②フォーム ③ケア ■実技：講座で学んだこと意識した快適ノウハウ体感ランを実施
参加人数	**参加者574名** 【内訳：9時半の部(252名)、11時の部(265名)・ボランティア（57名）】
ゲ ス ト	市橋有里 【シドニーオリンピック 女子マラソン出場（15位） 世界選手権（セビリア）2位（2時間27分02秒）】
協 力	日本コカ・コーラ株式会社 ・ 第一生命保険株式会社

チャリティについて

ランナーの皆様からいただいたチャリティ寄付金につきましては、以下の団体に寄付をいたしました。

■横浜ラポール	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
■神奈川県立こども医療センター	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

「横浜マラソン2018」大会コース

【 フルマラソン（42.195ｋｍ）】

※日本陸上競技連盟公認コースではありません。

【 1/7フルマラソン（6.0278ｋｍ） ・1/7フルマラソン（車いす） 】

みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場～横浜赤レンガ倉庫～
横浜スタジアム～山下公園前

※コースは変更になる場合があります。

【 2ｋｍ（車いす） 】

パシフィコ横浜前交差点～横浜赤レンガ倉庫(折り返し)～パシフィコ横浜

※コースは変更になる場合があります。

プラチナスポンサー（1社）

ENEOS

ゴールドスポンサー（3社）

LAWSON　AMADA　NISSAN

シルバースポンサー（12社）

横浜銀行　ALL SPORTS community　SUGIKO
KYOSAN　List　日清オイリオ
FANCL　第一生命　CASIO
東急グループ　AQUARIUS　UNDER ARMOUR

ブロンズスポンサー（２社）

KIRIN　MORE'S

横浜サポーター（19社）

NTT東日本、ダスキンレントオール、古河電池株式会社
富士ゼロックス株式会社、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社、富士通株式会社 神奈川支社
株式会社ありあけ、スポーツショップ GALLERY・２、タカナシ乳業株式会社、横浜油脂工業株式会社
すてきナイスグループ株式会社、フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社
フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ドコモバイクシェア、カリフォルニア・レーズン協会
＜横浜ジュニアサポーター＞　泉陽興業株式会社　よこはまコスモワールド

「横浜マラソン2018」収支決算（案）

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

収　入	902,355,692円	
支　出	902,347,129円	
差　引	8,563円	※次大会への繰越金

【 収 入 】

【単位：円】

	費　　目	予　算	決　算	差　引	備　　考
1	参加料及び協賛金	759,500,000	771,245,088	11,745,088	協賛金の増等
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	横浜市：100,000,000円 神奈川県：30,000,000円
3	その他	500,000	1,110,604	610,604	ロゴ使用料、銀行利息等
計		890,000,000	902,355,692	12,355,692	

【 支 出 】

【単位：円】

	費　　目	予　算	決　算	差　引	備　　考
1	広報・イベント費	195,000,000	208,790,137	13,790,137	EXPO設備の充実等に伴う増
2	安全対策費	290,000,000	288,472,138	▲1,527,862	コールセンター業務委託費の減
3	大会運営費	320,000,000	330,886,130	10,886,130	コース設営物の充実に伴う増
4	システム関係費	34,000,000	35,439,759	1,439,759	タイム計測費の増
5	事務局経費	41,000,000	38,758,965	▲2,241,035	調査費等の減
6	予備費	10,000,000	0	▲10,000,000	大会運営費に流用
計		890,000,000	902,347,129	12,347,129	